

伊豆大島における地磁気全磁力変化

Variation of Geomagnetic Total Intensity at Izu Oshima Volcano

気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory, JMA

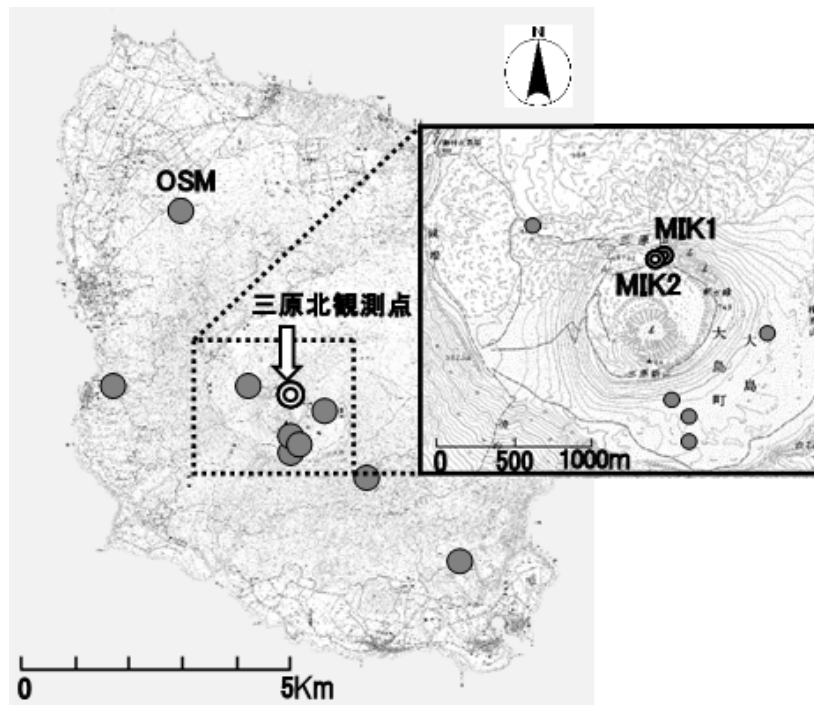
伊豆大島における2007年6月から2007年9月までの地磁気全磁力変化について報告する。

地磁気観測所では、当該期間に三原山火口北側の2点(MIK1、MIK2)において全磁力連続観測を実施した(第1図)。

2007年3月から2007年9月までの期間について、連続観測点MIK1、MIK2で得られた全磁力日平均値と、参照点として利用したOSM(東京大学地震研究所:北緯34度45.94分、東経139度22.37分、火口の北西約4.8km)の全磁力日平均値との差を第2図に示す。

MIK2では4月以降約20nTの全磁力の増加が見られたが、8月上旬から減少に転じたように見える。MIK1では7月から8月にかけて10nT程の全磁力の増加があった。いずれの変化も現在のところ原因は明らかになっていないが、年周変化などを把握するためにさらにデータの蓄積を進める必要がある。

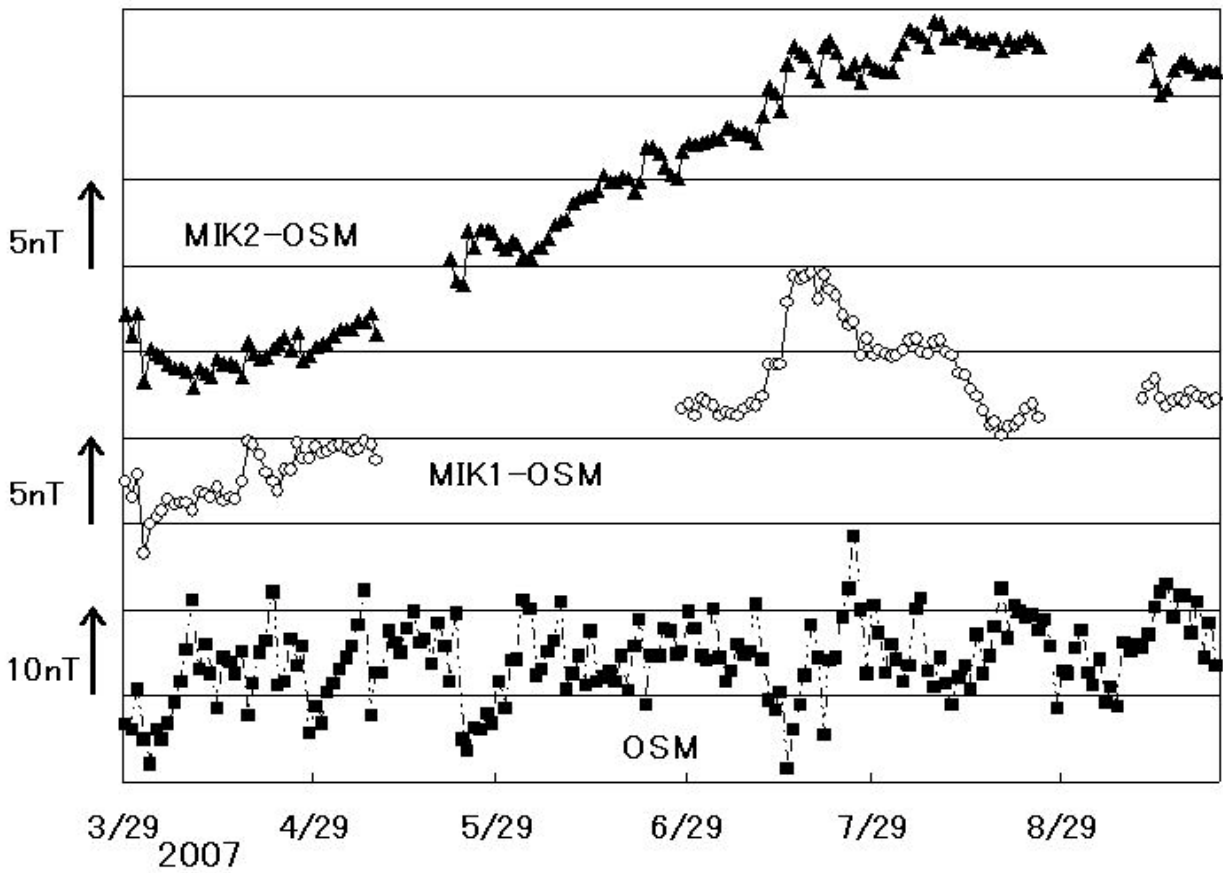
なお、5月10日に測器が故障し、5月21日に交換したところ不連続が生じた。



第1図 全磁力観測点配置図(◎:地磁気観測所、●:東京大学地震研究所)

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図25000(地図画像)」を使用した(承認番号 平17総使、第503号)

Fig.1 Location map of geomagnetic total intensity observation stations. Geomagnetic Observatory stations are marked by ◎. stations operated by Earthquake Research Institute(●) are also shown.



第2図 2007年3月から2007年9月までの連続観測点MIK1、MIK2における全磁力日平均値と参照点OSMの日平均値との差。

Fig.2 Daily mean differences of the geomagnetic total intensities at the continuous stations MIK1(○)and MIK2(▲) from the reference station OSM from March 2007 to September 2007. The total intensity at OSM(■) is also shown at the bottom.